

☆作業日あれこれ

4月第2土曜日は当地の祭りであることや、抜群の快晴で行楽日和になったため作業には人が少ないかな…と思っていました。出だしは予想通り不調でしたが、そのうち元祖炭焼名人(森の炭焼名人は、元祖、初代、現行と3人。元祖殿は生業としての炭焼)も何年ぶりに登場、お元気であったことを喜びました。かつて重機持参で炭焼窯や森守堂、シェルターなどの地ならしをしてもらった方です。



森のヤマザクラ

この日の観察会はスタッフが手一杯のためクマが担当です。今年はちょうどこの時期に森の外で桜(ソメイヨシノ)が満開、これと同じ時期に咲く森の桜・ヤマザクラの花見からスタートです。世間で桜と言えばソメイヨシノですが、これはエドヒガン(江戸彼岸：有名な薄墨桜もこの種)とオシマザクラ(大島桜)の一代雑種(F1)です。種子はできるのですが発芽せず、まれに発芽しても一代雑種故に親木とは異なる遺伝子を受け継ぎます(メンデルの法則)。よってこの木は接ぎ木や挿し芽のみで増やされ、日本中のソメイヨシノはクローンで同じ性質を持っています。エドヒガンの中には有名な古木や巨木が存在しますが、オシマザクラはこの森にもあるカシザクラの島嶼型(トウショ・島の環境に適応して変化)と言われています。エドヒガンは彼岸の頃に咲くから名付けられたように早咲きのサクラですが、オシマザクラは元になっているカシザクラがソメイヨシノより十日前後遅く咲くので勝手に遅咲きだと考え、交配して足して2で割った時期に咲くのだと解釈しました。しかしオシマザクラはソメイヨシノと同時期に咲くようで、その説は誤りのようです。また、成長が早く鮮やかで長所ばかりのようなソメイヨシノですが、エドヒガンから受け継げなかったのが寿命の長さで、これも短命なカシザクラ(里山では立ち枯れが目立つ)から受け継いだと考えたのですが、オシマザクラはカシザクラよりは長寿(200年程度か?)で、ストレートには当てはまらないようです。精々オシマザクラの中にカシザクラの短命の遺伝子が受け継がれソメイヨシノにその性質が出たのかなと推察される程度です。やれやれ、ボロボロとアアが出ました。

観察会の最後は天ぷらにして美味しい山菜をリストアップ。毒でなければ天ぷらにすれば何でも

それなりに食べられますが「美味しい」という条件を付けるとタナメやヤマトが代表です。バルやドクダミも結構いけます。地方によってはタナメよりも珍重されるのがハリギリだと解説すると一同は当然の如く「それ」を見たいと言い出しましたが、この森でわずかに生えているハリギリはかなりの高木なので見られませんでした。次に酢味噌やお浸しでおいしいのはヤマトやバル、ヤブカンゾウ、クサツツなどですが、地方によっては材バギボウシ(ウルイ)が珍重されることや、意外に雑草として扱っているギョウシが美味しいことを紹介しました。その他の食べ方ができる山菜にはワラビ、ゼンマイ、ヤマキなどがありますが、馴染みの無いのはコ根となるコエリでしょうか。山菜と茸の観察会は如何に食べるかが話題になるのが遊林会らしいところですが、残念ながらみんなで保全しているこの森から山菜をやたらと採るわけにもいかず、話のみに終わり飲み助たちはヨレを垂らすばかりです。



やまのこ始まる

作業は、竹林では折れたタケや細竹の整理を青年部長ほか南口周辺で、機械刈りは木道周辺で、三平モトキはフィッポ達も交えて木道から降りる丸太階段の設置など、マル達はイヤカデの近くの萌芽更新エリアで手刈りによる林床管理、別働隊は炭焼名人と親方のテント屋根のこしらえです。この日の昼食班はベテランが欠けるので、急遽リーダーとなったボンちゃんの号令の下、カレー天ぷら、愛知川河川敷産のバルの酢味噌和えなどアテに不自由しない料理が提供されました。オチや定番のない陶芸家の存在もあり、昼食後、トラ御用達テーブルの横では延長戦突入モードでしたが、予定外にも妙齢の女性が森の案内を請いに現れ、クマはウイスキーよりもそちらに惹かれて延長戦を放棄、結果飲み助共の会合はお開きとなりました。もちろん他のメンバーは、午後からもしっかりと作業をし、予定していた作業を終了しました。

ところで3月第2土曜日にお知らせした通り、遊林会も厳しい財政状況にありますので、今月から毎月第2土曜日のお昼には活動継続のための「昼食ワゴン・カンパ」をスタートしました。この日は11,750円のカンパを頂きました。ありがとうございます。5月からもよろしくお願いします。

5月26日(水曜日)週日活动 森の居酒屋は5月5日 午後7時頃～

9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先：東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210 当日連絡先：携帯(丸橋)090-3352-3163

Eメールでも、ご意見をお待ちしています。E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

4月28日の第4水曜日は好天に恵まれたたくさんの人が参加してくれた…ことと思いますが、実は世間が連休に突入しこの河辺林通信を28日までに発送しないと5月の作業日までみなさんのお手元に届かないので、今回は第4水曜日の記事を書けませんでした。ご了承下さい。

☆木ままクラブの様子

毎月2回定例作業をすると1年間で24回作業を行うことになります。先日2009年度の集計をしていると定例作業より1回多く1年で25回も作業しているものがあることに気づきました。それが「木ままクラブ」活動日です。

2006年12月にこの森でナラ枯れ被害木が発見されたことを契機に、毎月2回の定例作業以外にもナラ枯れ対策を始めようと2007年1～3月まではほぼ毎週、ナラ枯れ被害を受けやすいと考えられている大木ナラ類の伐採を行いました。3月の作業終了後、[軽トラ野郎]殿はじめ参加者から「せっかく毎週作業する雰囲気できたのだから来られる人だけでも毎週作業してはどうか」との声があり、2007年4月より定例作業日を含まない週の木曜日に、来たいと思う人だけが気楽に気ままに活動しようと設けた日が「木ままクラブ」で、これにより遊林会はほぼ毎週活動する体制となったのです。せっかく活動しているのですから、今月の通信からこの木ままクラブの活動内容も箇条書きでお伝えします。4月は3回活動しました。

① 4/1 5人 トングリ広場に生えている細竹やヒメウグ、ゴンズイなどの刈り取り。手間のかかる作業でしたがおかげですっきりしました。

② 4/15 9人 自然に生えているモジを優先的に残している「モジの林」でモジの実生を残しつつ繁茂していたクハコやアサギ等を刈り取る作業。数年手つかずのところだったので①作業より手間がかかりましたが見違えるようになり、秋の紅葉が楽しみです。

③ 4/22 2人 この日は朝から大雨で作業は中止…と思っていたら、炭焼き名人殿と草刈り名人殿のお二人が来訪。この雨ではさすがに森の作業はできませんね、とお伝えしたら「河辺の森駅」に行ってくるわ、と駅の電球交換や清掃などをしてくださいました。

*5月の木ままクラブは13日と20日です。

☆河辺いきものの森スタッフ・ルーム情報

花と緑の推進課として市の業務もしている河辺いきものの森の事務所ですが、4月の組織変えと人事異動により課が消滅し市職員も1名減員の3名となりました。課がなくなりましたが引き続き緑化推進や里山保全など市の業務は行っています。ここの名称も河辺いきものの森の正式名称である「八日市いきものふれあいの里」

という名になりましたが、正式名称ではなじみがありませんので対外的には今後も「河辺いきものの森」として通していきます。市職員の構成も異動で替わり、従来からの藤田、丸橋に加えて新しく松宮の3人体制となりました。

遊林会のスタッフも新しく岸本が入ったことは先月の通信でお伝えした通りですが、4月から勤めた本人から一言。「滋賀県立大学の大学院に進学しましたが、今は森のスタッフに専念するために休学中です。小さい頃から生き物や自然が大好きで、いろんな図鑑を見ながら、自分専用の図鑑を作っていたことを最近思い出しました。水族館や自然観察の森にもよく連れて行ってもらっていたので、このような環境で仕事ができることをとても嬉しく思っています。大学では、森林生態系の勉強をしていたので、もっといろんなことを知って、遊林会の力になれるようにがんばっていききたいです。今、興味があることはキノコ探しです。名前とか特徴など、ちょっとずつ覚えていきたいなと思っているので、珍しいヤツや変なヤツを見かけたら教えてくださいね。」

新年度の事業もいよいよ動き出しました。近所の小学4年生は年間13回の来訪が決まっており、すでに1回目が終了しました。そして県のやまのこ。4月23日の南比都佐小学校でスタートしました。春休みが終わりしばらく静けさに包まれていた森に、子どもたちの笑い声が戻ってきました！また、ゴールデンウィークにはクイズラリーを開催します。ぜひお越しください。

☆みどりのつどいと春の室内楽コンサート

今年のみどりのつどいは大風まつりと同日の**5月30日(日)**です。例年同様、炊きだしその他を賑やかにいきますので、みなさんの応援と参加をお待ちしています。

また、みどりのつどいの前夜祭として行われる春の室内楽コンサートは、**5月15日(土) 16:30開場、17:00開演**で、大阪シンフォニー交響楽団メンバーからバイオリン・ビオラ・チェロに加えてクラリネットが入り、素敵なクラリネット五重奏を聞かせていただきます。みなさんにおなじみの曲の演奏もありますのでお楽しみに♪料金は1,000円でチケットの販売・予約を開始しています。申し込み・お問い合わせはネチャーセンター(0748-20-5211)まで。詳しくはチラシをホームページで見られますのでご覧ください。

☆5月の作業日、お昼は？

新緑が美しい5月の作業日は連休明けの8日(土)がスタートです。休み明けの体を緑の中で動かしてみませんか。お昼は旬の材料を使った天ぷらや煮物を予定しています。

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！

発行者：東近江市建部北町 河辺いきものの森リチャージャー内 遊林会 世話役 武藤精蔵 Tel 0748-20-5211

URL:<http://www.yurinkai.org/> or ”遊林会”あるいは、”里山保全活動”で検索 あなたの思いを伝言板へ